

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 木 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	社会と歴史 (社会学入門) Society and History (Introduction to Sociology)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 担当教員: 松村真樹 / Eメールアドレス: masaki@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 留学生センター /オフィシアワー: 木曜日:14:00~16:00 または予約による メールによる質問も可 (masaki@nagasaki-u.ac.jp)			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 初めて社会学を学ぶ学生を対象に、社会学の基礎を広く、わかりやすく解説する。社会学が扱う様々なテーマを、われわれの日常生活における身近な問題と関連付けながら紹介する。 授業方法: 受講者が各自テキストを読むことと、テキストの内容をさらに拡大する形の講義によって進められる。また、ドキュメンタリー番組を鑑賞した後、討論を行なう授業も数回予定している。 授業到達目標: われわれが住む社会の仕組みやそこに起こる様々な現象を社会学的な視点から考察することによって、現実社会についての理解を深めることを目標とする。また、社会学の基本的な概念を使って、社会現象を説明する能力を高める。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 社会学が扱う主要なテーマをテキストで取り上げられている順番に紹介する。いくつかのテーマについては、関連したドキュメンタリー番組と一緒に鑑賞して、その内容について討論する。 第1回 社会学とは何か 第2回 人口と社会 第3回 現代家族 第4回 ドキュメンタリー番組鑑賞 第5回 教育の社会学 第6回 産業と労働 第7回 ドキュメンタリー番組鑑賞 第8回 ジェンダーの社会学 第9回 逸脱の社会学 第10回 都市と農村の社会学 第11回 ドキュメンタリー番組鑑賞 第12回 宗教の社会学 第13回 社会学の方法 第14回 まとめ(定期試験対策) 第15回 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	赤坂真人著、『基礎社会学』、ふくろう出版(2006)		
成績評価の方法・基準等	定期試験(90%) 授業および討論への参加度(10%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			